

本 PDF は 2013 年 7 月 4 日に作成されたものです。
本 PDF に記載の FCB1010 に関する仕様は、
予告なく変更される場合がございます。

FCB1010 の誤った操作における設定、または破損等に関して、
弊社は一切の責任を負いかねますので、本 PDF は
あくまで参考用としてのご使用をお願い致します

FCB1010 よくある質問 Q&A

■エクスプレッションペダルの MIDI Ch、または MIDI コントロールチェンジ の割り当て方法・カリブレーションについて

FCB1010 は、MIDI コントロールチェンジとしての他機種でのボリューム情報や
ワウ情報をリアルタイムに操作する事が可能です。

割り当て方法については、V-AMP3 等ベリンガー製品のエフェクターであれば、
初期状態でプリセットとして FCB1010 に V-AMP3 のパラメータが割り振られて
おりますので、設定の必要なくすぐにご使用いただけます。

ここでは他機種での MIDI コントロールチェンジ割り当ての方法をご説明いたします。
※設定の際は、MIDI IN/OUT に接続してある MIDI ケーブルを全て抜いてください。

- ①. 電源投入時に[DOWN]キーを押したまま電源を入れ、2.5 秒押し続けます。
- ②. GLOBAL CONFIGURATION メニューに入りますので、[UP ENTER]キーを数度押し
[MIDI FUNCTION]の LED を点灯させます。
- ③. 8 番のフットペダル[小さく EXP A と書かれています]を一度踏み、8 番フットペダル
の LED を点滅状態にします。
- ④. UP キーを一度押し、GLOBAL CONFIGURATION 欄の[MIDI CHAN]に LED を
移動させます。

- ⑤. 1 から 10 のフットペダル・またはエクスプレッションペダルを使用し、操作したい機器と同じ MIDI チャンネルになるよう番号を決めます。
- ⑥. [UP ENTER] キーを一度押し MIDI チャンネルを決定します。GLOBAL CONFIGURATION の LED は[CONFIG]に移動します。
- ⑦. [DOWN]キーを長押しして、GLOBAL CONFIGURATION メニューから抜けて通常モードに戻ります。
- ⑧. フットペダル[8 番]を押して点灯させ、[DOWN]キーを長押しすると [PRESET CONFIGURATION]モードに入ります。[UP ENTER]キーを一度押し、[SELECT]の LED を点灯させます。
- ⑨. フットペダル 8 を一度踏み、点滅状態にしてから [UP ENTER]キーを押します。LED が[NUMBER]に移動します。
- ⑩ここでエクスプレッションペダル A の MIDI コントロールナンバーを決定します。画面に表示されている 1 から 127 の番号を、お使いの機種のマニュアルに記載されておりますボリューム or ワウの No.と一致する番号に設定します。FCB1010 のフットペダル 1 から 10 を使用し、番号を設定してください。
- ⑪番号が決まりましたら [UP ENTER]キーを一度押します。PRESET CONFIGURATION の LED が[VALUE 1]に移動します。ここで、エクスプレッションペダル A の「踏み込んでいない状態」の数値を決定します。エクスプレッションペダル A を数値がゼロになるよう調節してください。
- ⑫次に再度 [UP ENTER]キーを押すと、PRESET CONFIGURATION の LED が[VALUE 2]に移動します。ここでは、エクスプレッションペダル A を「完全に踏み込んだ状態」の数値を決定します。エクスプレッションペダル A を踏み込み、数値を 127 に調整してください。
- ⑬調整が終了しましたら、[UP ENTER]キーを一度押し、PRESET CONFIGURATION の LED を SELECT に移動してください。

⑭[DOWN]キーを長押しして、PRESET CONFIGURATION モードから抜けて通常モードに戻ります。以上でエクスプレッションペダル A の MIDI チャンネル及び MIDI コントロールチェンジ番号は変更されました。

※エクスプレッションペダル B を変更する場合は、上記①から⑭の説明内にありますフットペダル[8番]を、フットペダル[9番]に置き換える事でエクスプレッションペダル B の MIDI チャンネル及び MIDI コントロールチェンジ番号を変更出来ます。

■FCB1010 のフットペダルにパッチナンバーを割り当てる方法

※この方式での割り当てには、FCB1010 の DIRECT SELECT をオフにする必要があります。

※※DIRECT SELECT とは

【DIRECT SELECT ON 時の操作】：

FCB1010 のフットスイッチ 1 を 2 回押すとパッチ No.11 が選択されます。

【DIRECT SELECT OFF 時の操作】：

数値 LED が[00]の時に、フットスイッチ 1 を押すとパッチ No.01 が選択されます。

数値 LED が[01]の時にフットスイッチ 1 を押すと、パッチ No.11 が選択されます。

(今回の設定ではこちらを使用します)

①一度電源をオフにし、フットスイッチの[DOWN]を押し続けたまま電源を立ち上げます。

そのまま[DOWN]キーを押し続けると、数字 LED の左にあります

[GLOBAL CONFIGURATION]欄の[DIRECT SELECT]の LED が

緑色に点灯しますので、[DOWN]キーをここで離します。

②. [DIRECT SELECT]の緑 LED が点灯した状態で、フットスイッチ 10 番を押し、

10 番の赤い LED を消灯させます。こうする事で、[DIRECT SELECT]機能が OFF になります。

③. その状態で再度[DOWN]キーを押し続けると、数字 LED に[00]と表示され、[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから抜けて通常モードに入ります。

以上が DIRECT SELECT を OFF にする方法です。

■続きまして、例としてフットスイッチ 1 にパッチ No.55 を、フットスイッチ 2 にパッチ No.93 を割り当てていく方法をご紹介しますので、ご参照ください。

①.[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから通常モードに戻りましたら、フットペダル[1 番]を押して点灯させ、[DOWN]キーを長押しすると[PRESET CONFIGURATION]モードに入ります。[UP ENTER]キーを一度押して、[SELECT]の LED を点灯させます。

②. フットペダル 1 を一度踏み、点滅状態にしてから[UP ENTER]キーを押します。LED が[NUMBER]に移動します。

③.ここでフットペダル 1 のプログラムチェンジ No.を決定します。画面に[01]と表示されているのは、(フットペダル 1 を押すとパッチ No.01 が選択される) という意味です。この数値を、フットペダル 5 を 2 回押して[55]の値に変更してください。

④.番号が決まりましたら[UP ENTER]キーを一度押します。PRESET CONFIGURATION の LED が再度[SELECT]に移動します。これでフットスイッチ 1 のパッチ No.は 55 に変更されました。[DOWN]キーを長押しして、PRESET CONFIGURATION モードから抜けて通常モードに戻ります。

⑤通常モードに戻りましたら、フットスイッチ 2 を押して DOWN キーを長押しし、再び[PRESET CONFIGURATION]モードに入ってください。

⑥この後の手順は、上記の①にあります「[DOWN]キーを長押しすると・・・」からと同様になります。フットスイッチ 2 をパッチ No.93 に設定するには、上記③の数値を [93] に置き換えていただく事で変更できます。

以上が、FCB1010 各フットスイッチのパッチ No.を変更する方法です。

■FCB1010 のプリセットで、一度に複数台の MIDI 機器をプログラムチェンジする方法

FCB1010 は、一つのプリセットにつき最大 5 台までの MIDI 機器を一度にプログラムチェンジする事が可能です。

ここでは、例として以下のようなセッティングを行う前提で操作方法をご説明差し上げます。

- MIDI 機器 1 を MIDI ch1 に設定し、パッチ No.11 に切り替える
- MIDI 機器 2 を MIDI ch2 に設定し、パッチ No.22 に切り替える
- MIDI 機器 3 を MIDI ch3 に設定し、パッチ No.33 に切り替える
- MIDI 機器 4 を MIDI ch4 に設定し、パッチ No.44 に切り替える
- MIDI 機器 5 を MIDI ch5 に設定し、パッチ No.55 に切り替える

これらの操作を、FCB1010 のフットスイッチ 1 を踏む事で一度に行えるようにします。

それでは、GLOBAL CONFIGURATION モードの設定方法をご説明いたします。

①一度電源をオフにし、フットスイッチの[DOWN]を押し続けたまま電源を立ち上げます。そのまま[DOWN]キーを押し続けると、数字 LED の左にあります [GLOBAL CONFIGURATION]欄の [DIRECT SELECT] の LED が緑色に点灯しますので、[DOWN]キーをここで離します。

②. [DIRECT SELECT]の緑 LED が点灯した状態で、[UP]キーを一度押し、MIDI FUNCTION の緑 LED に移動させます。その後、フットペダル 1～5 を順番に踏み、数値 LED を確認して下さい。この数値は、

- プリセットのプログラムチェンジ 1 は、MIDI ch1
- プリセットのプログラムチェンジ 2～5 も、同じく MIDI ch1.....

という意味を表しています。これらプログラムチェンジ 1～5 を、それぞれ別の MIDI ch で送信されるよう設定を行います。

③.フットスイッチ 1 のプログラムチェンジ 1 は MIDI ch1 のままで問題ありませんので、フットスイッチ 2 を押してプログラムチェンジ 2 の MIDI ch を 2 に変更します。フットスイッチ 2 を踏み、赤 LED を点滅させたら [UP]キーを押し、MIDI CHAN の緑 LED に移動させます。

④.その後フットスイッチ 2 を踏み、数値 LED が 2 に変更したのを確認して [UP]キーを押して確定させます。これでプリセット内のプログラムチェンジ 2 は MIDI ch2 で送信されるよう設定されました。

⑤.CONFIG の緑 LED が点灯していますので、[UP]キーを 2 回押しして再度 MIDI FUNCTION の緑 LED へと移動させます。

⑥.次にフットスイッチ 3 を押して LED を点滅させ、[UP]キーを 1 回押し MIDI CHAN へ移動させます。その後フットスイッチ 3 を押し、数値 LED が 3 に変更されたのを確認して [UP]キーを押します。これでプリセット内のプログラムチェンジ 3 は MIDI ch3 で送信されるよう設定されました。

⑦上記の③～⑥を繰り返し、プログラムチェンジ 4 と 5 もそれぞれ MIDI ch4 と 5 に変更してください。

⑧. 全ての設定が終わりましたら、[DOWN]キーを押し続けると数字 LED に [00] と表示され、[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから抜けて通常モードに入ります。

ここまでが GLOBAL CONFIGURATION モードの設定です。

次に[PRESET CONFIGURATION]モードの設定方法をご説明します。

⑨.[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから通常モードに戻りましたら、フットペダル[1番]を押して点灯させ、[DOWN]キーを長押しすると[PRESET CONFIGURATION]モードに入ります。[UP ENTER]キーを一度押して、[SELECT]のLEDを点灯させます。

⑩. フットペダル1を一度踏み、点滅状態にしてから[UP ENTER]キーを押します。LEDが[NUMBER]に移動します。

⑪.ここでフットペダル1のプログラムチェンジNo.を決定します。画面に[01]と表示されているのは、(フットペダル1を押すとパッチNo.01が選択される)という意味です。この数値を、フットペダル1を2回押して[11]の値に変更してください。

⑫.番号が決まりましたら[UP ENTER]キーを一度押します。PRESET CONFIGURATIONの緑LEDが再度[SELECT]に移動します。これでプリセット内プログラムチェンジ1のパッチNo.は11に変更されました。

次にフットスイッチ2を長押しし、赤LEDを点灯させてください。これでプログラムチェンジ2が有効になります。点灯したら、フットスイッチ2を軽く押し、LEDを点滅状態にしてください。

⑬.この後は、⑩から⑫の手順を繰り返していただきます。プリセット内のプログラムチェンジ3～5も、同じ手順を繰り返していただくことで、設定が完了します。完了しましたら、[DOWN]キーを長押しし、通常モードに戻ってください。

⑭.設定が完了した状態は以下のようになります。プリセットのフットスイッチ 1 を押すと....

- プログラムチェンジ 1 から MIDI ch1 でパッチ No.11 が送信される
- プログラムチェンジ 2 から MIDI ch2 でパッチ No.22 が送信される
- プログラムチェンジ 3 から MIDI ch3 でパッチ No.33 が送信される
- プログラムチェンジ 4 から MIDI ch4 でパッチ No.44 が送信される
- プログラムチェンジ 5 から MIDI ch5 でパッチ No.55 が送信される

上記がフットスイッチ 1 を踏む事で一度に送信され、5 台の MIDI 機器パッチが一度に切り替わるようになります。

各 MIDI 機器本体の設定は、それぞれのマニュアルをご参照になり、MIDI ch と MIDI プログラムチェンジレシーブ(受信可)の設定を行ってください。

以上が、複数台の MIDI 機器環境下における FCB1010 の設定方法となります。

■FCB1010 のフットスイッチに MIDI ノート情報を割り当てる方法

①.一度電源をオフにし、フットスイッチの[DOWN]を押し続けたまま電源を立ち上げます。そのまま[DOWN]キーを押し続けると、数字 LED の左にあります [GLOBAL CONFIGURATION]欄の[DIRECT SELECT]の LED が緑色に点灯しますので、[UP ENTER]キーを一度押し、MIDI Function の LED を点灯させます。

②. 次にフットスイッチ 10 番を押し、ノート情報の MIDI チャンネル変更の設定を行います。10 番を点滅させたら[UP ENTER]キーを一度押し、MIDI Ch の緑色 LED を点灯させてください。

この項目で発音させる機器の MIDI チャンネルを任意に設定することができます。1~16 までの任意の MIDI チャンネル数値をフットペダルで入力し、[UP ENTER]キーを押して確定してください。(注意：ここで設定されたノート情報の MIDI チャンネルは、プリセット上のいかなる設定に関係なく FCB1010 上の全てのプリセットにおいて、この MIDI チャンネルでノート情報が送信されます)

- ③. その状態で再度[DOWN]キーを押し続けると、数字 LED に[00]と表示され、[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから抜けて通常モードに入ります。
- ④.[GLOBAL CONFIGURATION]メニューから通常モードに戻りましたら、フットペダル [1 番]を押して点灯させ、[DOWN]キーを長押しすると[PRESET CONFIGURATION]モードに入ります。[UP ENTER]キーを一度押し、[SELECT]の LED を点灯させます。
- ⑤. フットペダル 10 番を長押しして、10 番の LED が点灯したことを確認します。その後、再度フットペダル 10 番を軽く押し、10 番の LED を点滅させてください。
- ⑥.ここで MIDI ノートナンバーを決定します。マニュアルの 8 ページに記載されております、MIDI ノートナンバー表をご参照ください。(60 の数値が C3 となります)
[UP ENTER]キーを一度押し、Number の LED を点灯させます。
- ⑦.⑥の MIDI ノートナンバー表を参照しながら、発音させたいノートナンバーをフットペダルで入力してください。入力し終わったら[UP ENTER]キーを押して確定します。
(この際、MIDI ノートが発音されっぱなしになる場合がございますので、お手持ちの MIDI 機器のパニック機能をご使用いただくか、電源を落としてリセットをお願いします)
- ⑧.設定が終了しましたら、DOWN キーを長押しして通常モードに戻ってください。
フットスイッチ 1 番を踏むと、⑦で設定した MIDI ノート (例 : C3) が発音されます。

以上が、FCB1010 プリセットのノート情報を変更する方法です。

■FCB1010 を工場出荷時の状態に戻す方法

- ①.FCB1010 の電源を落とし、フットペダルの 1 と 6 を同時に押しながら電源を立ち上げます。数値ディスプレイが 9 ~ 0 までのカウントを開始し、通常モードに戻ります。
- ②.再度本体の電源を落とし、フットペダルの 1 と 7 を同時に押しながら電源を立ち上げます。数値ディスプレイが 9 ~ 0 までのカウントを開始し、通常モードに戻ります。
- ③.再度本体の電源を落とし、フットペダルの 1 と 8 を同時に押しながら電源を立ち上げます。数値ディスプレイが 9 ~ 0 までのカウントを開始し、通常モードに戻ります。
これで FCB1010 の設定は工場出荷時の状態に戻ります。